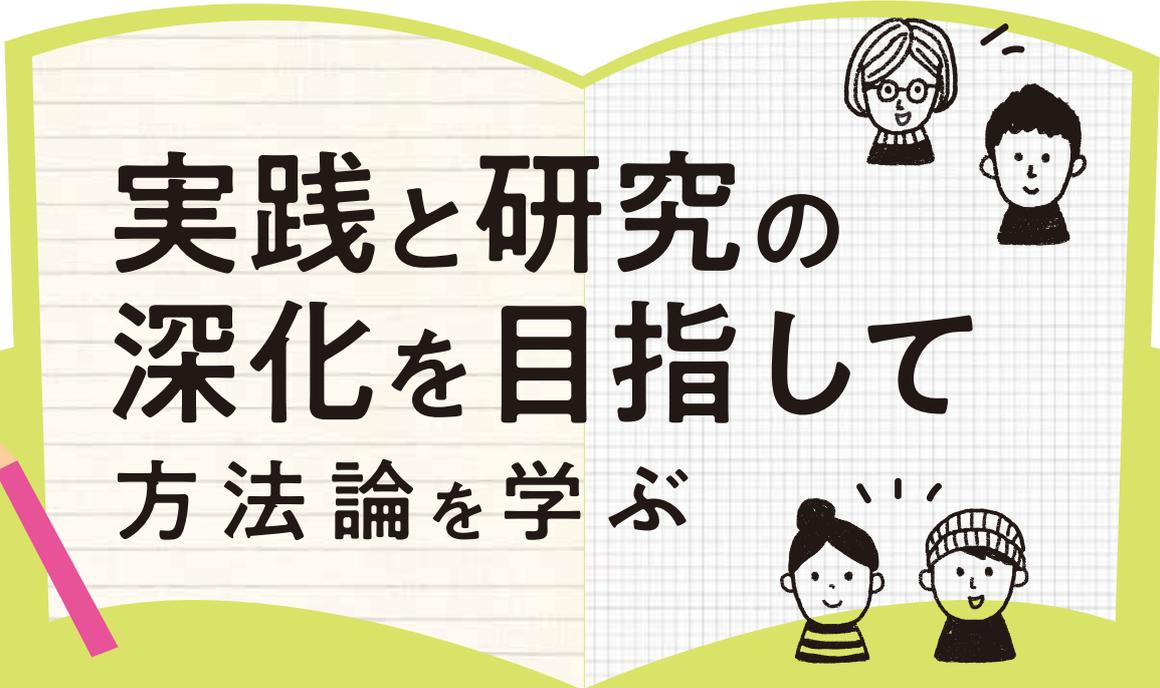


新潟青陵学会  
第12回学術集会



実践と研究の  
深化を目指して  
方法論を学ぶ

2019.11/2 土

10:00~16:00

受付 9:30~(4号館1階ホール)

- 会 場 新潟青陵大学
- 主 催 新潟青陵学会

学術集会長 丸山 公男 新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科 教授

メイン・テーマ



私たちは現場実践や研究の目的を達成するために、それぞれが依拠する方法、方法論を用いて活動しています。臨床実践であるサイコセラピーでは、方法論を学び技術を修得し、その理解を深めると、正確なクライアント像に近づくことができクライアントに対する共感が深まり、治療は進展します。研究では、その方法論の理解を深めることにより、より真実に近い結果を得ることができるようになります。

17世紀フランスの哲学者デカルトは、『方法序説』の中で「わたしたちの意見が分かれるのは、ある人が他人よりも理性があるということによるのではなく、ただ、わたしたちが思考を異なる道筋で導き、同一のことを考察してはいないことから生じるのである。」と述べ、理性が真理に到るために、思考を導く道筋＝方法を重視し、事物の真理を探究するには、方法論が必要であると考えました。私たちは、方法論をよく理解しなければなりません。そして、対象に対する認識を拡大・深化させ、柔軟にそれを取り入れることにより、研究では信頼性と妥当性のある結論を導くことができ、実践では妥当な支援を行うことが可能となります。

今回の学術集会の基調講演、ポスター発表、シンポジウムを、学会員自らが実践・研究の方法論について振り返り、学び、実践と研究を深めるきっかけにさせていただきたいと考えています。

## スケジュール

9:30～10:00	●受付	4号館 1階ホール
10:00～10:10	●開会の挨拶 学 会 長：リボウィッツ よし子 新潟青陵大学 学長 学術集会長：丸山 公男 新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科 教授	5号館 5301 講義室
10:10～12:00	●基調講演 「疫学方法論とその応用： 水俣病の事例を通して」 講 師：頼藤 貴志 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授	5号館 5301 講義室
12:00～12:25	●総 会 学会員の方のみが対象となります。非学会員の方の出席はご遠慮ください。	5号館 5301 講義室
13:00～14:00	●ポスターセッション ポスターは10:30～15:00まで自由にご覧ください。	1号館 1204・1205・1206 講義室
14:10～15:55	●シンポジウム 「実践と研究のつながりとその方法」 <シンポジスト> 斎藤 まさ子 新潟青陵大学大学院看護学研究科・新潟青陵大学看護学部看護学科 教授 関谷 昭吉 新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科 准教授 浅田 剛正 新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科・新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 准教授 <座 長> 中平 浩人 新潟青陵大学大学院看護学研究科・新潟青陵大学看護学部看護学科 教授	5号館 5301 講義室
16:00	●閉会の挨拶	

# プログラム

## 1. 基調講演

### テーマ

#### 「疫学方法論とその応用：水俣病の事例を通して」

講師：頼藤 貴志 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授

熊本大学医学部卒業、国立病院岡山医療センター小児科研修後、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了（医学博士）。同研究科助教、Harvard School of Public Health客員研究員を経て、2011年岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授就任。学部生時代の胎児性水俣病患者さんとの交流で、「環境要因の人体への影響」に関心を持ち、水俣病・大気汚染などの環境疫学、小児・周産期疫学、ルワンダ母子保健など、「時空を超えた命のつながり」を信条に世界の公衆衛生向上を目指し研究活動を行っている。

著書：共著Minamata disease: a challenge for democracy and justice. European Environment Agency 2013  
共著『水俣病：民主主義と正義のための挑戦』水俣学研究2015  
分担Outdoor Air Pollution. IARC Monographs Volume 109, IARC 2016

## 2. シンポジウム

### テーマ

#### 「実践と研究のつながりとその方法」

##### 〈趣旨〉

看護、福祉、心理などの実践現場で活動する専門家は、方法論を学び技術を修得し、その理解を深めることによって、実践をより妥当なものにしていきます。また、研究者も研究の方法論を学び、その理解を深めることにより、研究を信頼性と妥当性のあるものにしていきます。そして、実践と研究をつなげることにより、両者はより深化していきます。

本シンポジウムでは、どのようなフィールドで、どのような理論に基づき、どのような方法で実践や研究をしているのか、これまでの経験を看護、社会福祉、臨床心理のそれぞれの分野の専門家にお話しいただきます。

多様な実践方法、多様な研究方法の実際を知ると共に、実践と研究のつながりについて、シンポジストと参加者の皆様と議論したいと思います。

##### ●シンポジスト 斎藤 まさ子

専門：精神看護学

精神看護を探求する者として、教育の他に、地域の精神障がい者やひきこもり家族と関わっている。科研究費の元、ひきこもり本人と家族の心理的变化のプロセスと看護、家族支援プログラムの開発と実践・評価、親の会との連携システムの構築に関する研究を行っている。主に質的研究である。

##### 関谷 昭吉

専門：社会医学・公衆衛生学  
(精神保健福祉疫学)

これまで行政機関で精神保健福祉相談員や児童福祉司として精神障害者やその家族、さまざまな課題を抱える家庭の支援に携わる。現職では、地域住民の方々を対象にした量的調査を基に、地理情報を活用した地域特性の分析や、事業効果の検証を行い、根拠を持った施設整備や助成制度の創設など自治体の保健福祉施策の計画企画立案に貢献している。

##### 浅田 剛正

専門：心理臨床学・臨床実践指導学

臨床心理士として医療、教育、司法、子育て支援等の実践と専門職養成に携わる。「研究とは専門家間のディスカッションである」を信条とし、近年は表現/イメージ療法、スーパーヴィジョン等の研究に取り組み、関係性を軸に心の個別性を深める事例研究の重要性を再認識している。

##### ●座

長 中平 浩人 新潟青陵大学大学院看護学研究科・看護学部看護学科 教授

# ポスターセッションの申し込み・抄録作成・発表

## 1 申し込み方法

### 1) 方法

ポスターセッションでの発表をご希望の方は、新潟青陵学会ホームページ(<http://www.n-seiryu.ac.jp/gakkai/>)の申込受付ボタンから所定のサイトに入り、お申し込みください。

申込期限／2019年8月5日(月)17:00《必着》

## 2 抄録原稿の作成・提出方法

- 発表申し込み後、抄録原稿を作成し、抄録原稿作成チェックリストと共に電子メールに添付して、学術集会事務局(E-mail:[conf@n-seiryu.ac.jp](mailto:conf@n-seiryu.ac.jp))までお送りください。
- 抄録原稿書式・抄録原稿作成チェックリストは新潟青陵学会ホームページ(<http://www.n-seiryu.ac.jp/gakkai/>)からダウンロードできます。

## 3 発表者の資格・選考

### 1) 資格

- 共同研究の場合は、学会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- 単独での発表を希望される非学会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。新潟青陵学会ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、電子メールで学会事務局(E-mail:[gakkaijimu@n-seiryu.ac.jp](mailto:gakkaijimu@n-seiryu.ac.jp))にお送りください。1週間以内に受領メールが届かない場合は、学術集会事務局にご連絡ください。

### 2) 選考

- ポスターセッション発表申込の採否は、9月中旬頃に電子メールにてご連絡いたします。
- 採択された抄録原稿は、『新潟青陵学会第12回学術集会抄録集』に掲載されます。

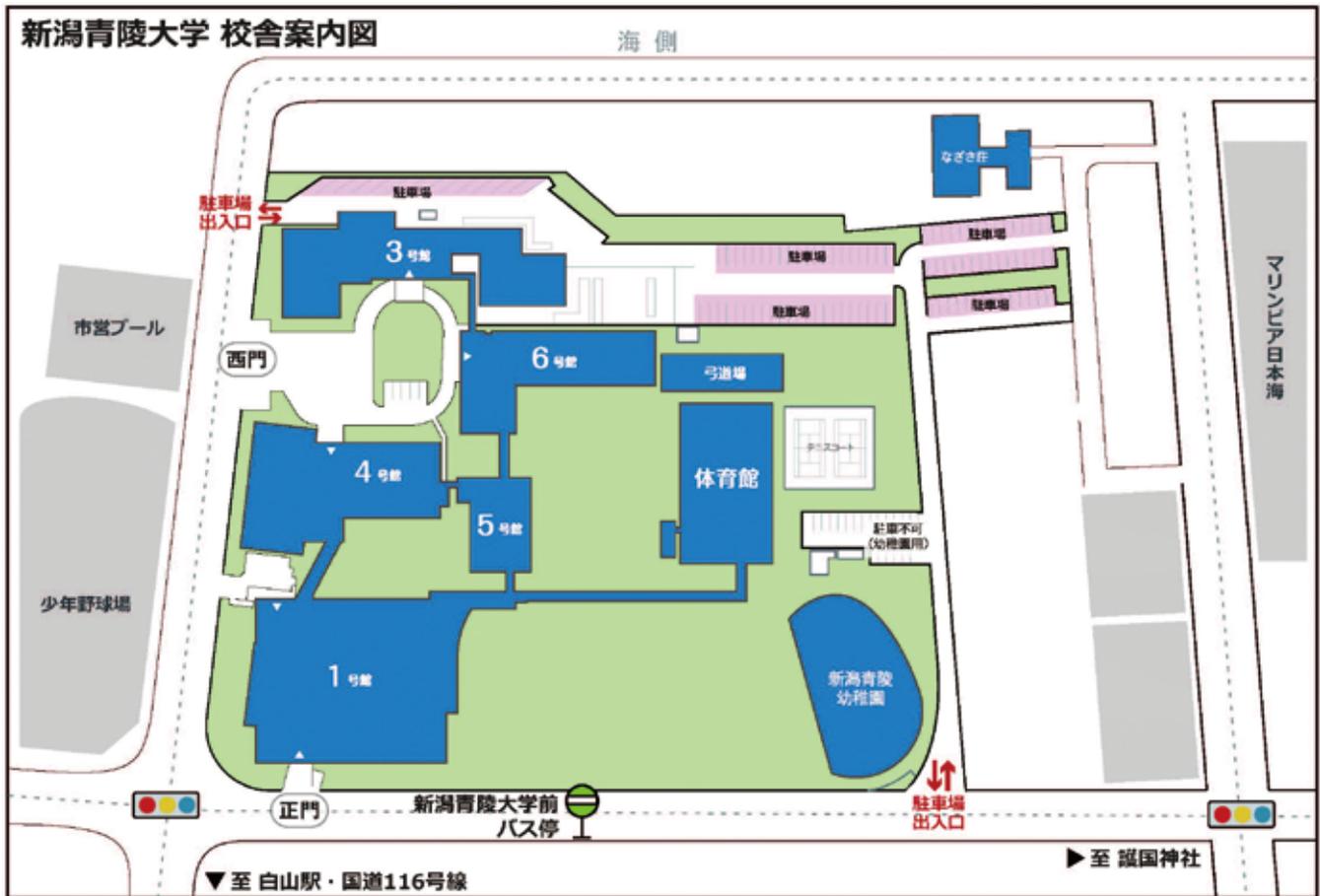
## 4 個人情報の利用

- ポスターセッション発表申込サイトに記入された氏名・所属は、『新潟青陵学会第12回学術集会抄録集』に掲載されます。ご了承ください。

## 5 ポスターの掲示・発表

- ポスターの掲示スペースは、1演題につき題名を含めて縦180cm×横90cmです。
- 発表は、座長の進行により行います。1演題あたり10分(発表6分、討論4分)です。
- 発表者は、ポスターセッションの時間内(13:00~14:00)は発表時間以外も会場内に待機し、参加者の質問等に答えたり、他の発表者のセッションに参加したりしてください。  
※詳細については、採択通知と一緒にご連絡いたします。

# 会場案内



- 大学生協売店が10:00~16:00まで営業します。また、4号館1階ホール付近にてワークショップロード、焙煎コーヒー温、ワークセンター日和山、あどばんす、NPO法人耕房の出店も予定しております。どうぞご利用ください。
- 会場の駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 会場周辺には公共施設等の駐車場がございますが、本来の利用者の方の妨げになりますので、本学術集会にご参加の方のご利用はご遠慮ください。

# 参加申し込み・参加費

## 1) 参加申し込み

事前申し込みは不要です。当日、直接受付においでください。

## 2) 参加費

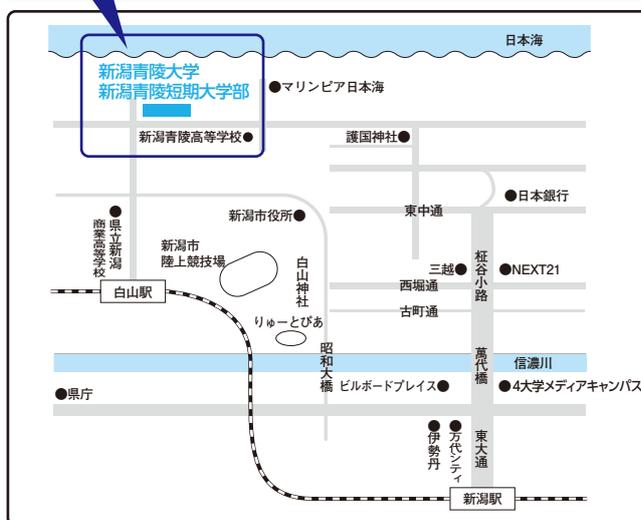
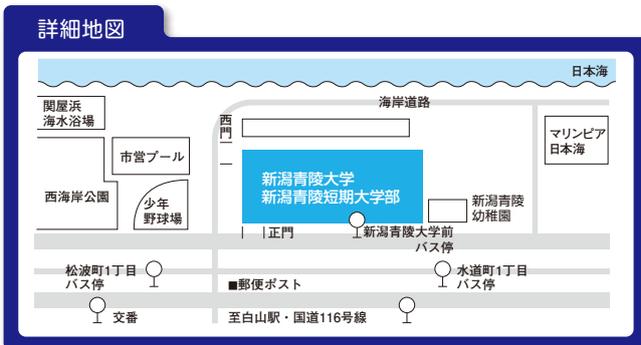
学会員、本学学生・本学大学院生	非 学 会 員	
無 料	一 般 1,000円	学 生・大学院生 500円

※非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払いください。  
注)本学卒業生は別途入会者を除き、非学会員となります。

# memo

A series of horizontal dashed lines for writing.

# 交通アクセス



■JRをご利用の方 JR越後線(白山駅)下車 徒歩15分

■バスをご利用の方 ※新潟駅前万代口バスターミナル(7番のりば)から  
 C20(浜浦町線 西部営業所ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分  
 C21(浜浦町線 信濃町ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分  
 C22(浜浦町線 水族館前ゆき) バス停 新潟青陵大学前下車 徒歩1分

## 新潟青陵学会 第12回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地  
 TEL:025-266-0127(代表) FAX:025-267-0053(代表)  
 E-mail:conf@n-seiryō.ac.jp  
 ホームページ:http://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/  
 電話受付時間:8:30~17:00(土日祝日・休業日は除く)

お問い合わせ先

